

「社会人の先輩に聞く」

神奈川県立相模原高校



2005年10月3日と17日(月)の2日間、県立相模原高校の3年生を対象に、「社会人の先輩に聞く」という総合的な学習の時間の授業が行われ、応援団より13名の講師を紹介派遣しました。ご協力いただいた講師は、伊藤 晃さん(マルチ映像クリエイター・起業家)、伊藤信吾さん(弁護士)、小久保法子さん(税理士)、後藤祐一さん(元経済産業省・政治家志望)、柴田正弘さん(起業家・同校卒業生)、高村 伸二さん(放射線技師・同校卒業生)、竹花洋史さん(薬剤師・漢方薬局経営)、千田昭史さん(獣医師)、中島信義さん(住宅メーカー社長、一級建築士)、根岸淳二さん(ホテル企画課長)、日野孝二郎さん(元税関職員・行政書士)、柳瀬一路さん(一級建築士・市役所職員)、若生ひとみさん(グラフィックデザイナー)。講師は現役で働いていらっしゃる方ばかりで、忙しいお仕事を抜けて駆けつけて来ていただきました。また、柴田さんは21期、高村さんは14期の相模原高校の卒業生で、後輩へ向けてのメッセージにはとりわけ熱い思いが入っているようでした。

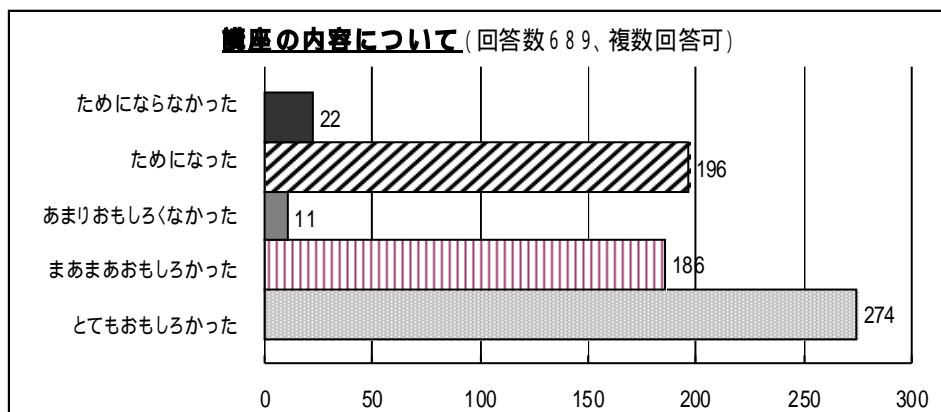
授業の1部はクラスごとに講師の話聞き、2部は希望者が関心のある講師の話任意で聞くというスタイルで行われ、2部では講師を囲み、生徒から積極的な質問が次々と飛び出していました。弁護士の伊藤さんには「総理の靖国参拝は合法か? 違法か?」、グラフィックデザイナーの若生さんには「女性が結婚や子どもを産んでも仕事を続けるためにはどうしたらいいか?」などの質問もあり、生徒も講師も真剣そのもの。



村田彰夫校長先生も「大学で何を学ぶか目的意識を持って進路を設計できるように」と積極的にキャリア教育を進めていく方針で、大学受験を目前にした3年生にとっても刺激になったようでした。

- 生徒の感想から -

自分のやってることに自信を持っていて、説得力があった / 挫折を乗り越える精神的な面が参考になった /



目的をもって仕事をしている、またその仕事を語れる。人間的にすごいと思った / 信念がすごく伝わってきた / 社会人になることに不安があったが、少し考え方が変わった / これから生きていく上で支えになるような良い言葉をたくさんいただいた。など